

当院（社会医療法人川島会川島病院）では、2型糖尿病患者に対するセマグルチド（オゼンピック®皮下注SD）の有用性に関する検討について調査を行っております。

調査名称

2型糖尿病患者に対するセマグルチドの有用性に関する検討

調査の背景

GLP-1受容体作動薬：セマグルチド（オゼンピック®皮下注SD）は、週1回注射で効果のある新しい2型糖尿病治療薬です。

2020年6月より臨床使用が可能となったため、この薬剤の臨床効果や副作用についての検討はまだ少ないのが現状です。

調査の目的

2型糖尿病患者に対するセマグルチド（オゼンピック®皮下注SD）の効果と安全性を検討する。

調査の内容

対象：川島ホスピタルグループでセマグルチド（オゼンピック®皮下注SD）が投与されている2型糖尿病患者

方法：セマグルチド（オゼンピック®皮下注SD）投与開始後24週まで、下記項目について評価する。

主要アウトカム評価項目

HbA1c・グリコアルブミン値のベースラインから投与後24週までの変化量

副次アウトカム評価項目：

体重のベースラインから投与後24週までの変化量

血液透析患者：体重増加率の推移

投与後24週におけるHbA1c・グリコアルブミン値の目標達成率

血糖値（随時・空腹時）のベースラインから投与後24週までの変化量
持続血糖モニターによる血糖日内変動の推移

安全性：低血糖の頻度、消化器症状、食欲抑制効果などの自他覚症状
CBC・肝機能・腎機能・脂質等の検査値異常

患者さんへ（注意事項）

1. この調査のための採血や検査は必要ありません。

2. 調査は 2020年8月～ 2025年7月まで（期間）です。
3. この調査に協力したくない場合は、遠慮なく担当医師などに申し出てください。
その場合でも患者さんが不利益を受けることは全くありません。

個人情報の保護について

この調査のために、調査協力者が患者さんのカルテなどを閲覧しますが、患者さんのお名前など個人を特定する情報は決して院外に漏れることはありません。

また、この調査の結果は、専門学会や研究会での発表、医学雑誌に掲載する予定ですが、患者さんのお名前など個人を特定する情報は発表されません。

問合せ先

研究代表者 川島病院 糖尿病科部長 小松まち子

研究カンファレンス
川島病院倫理委員会